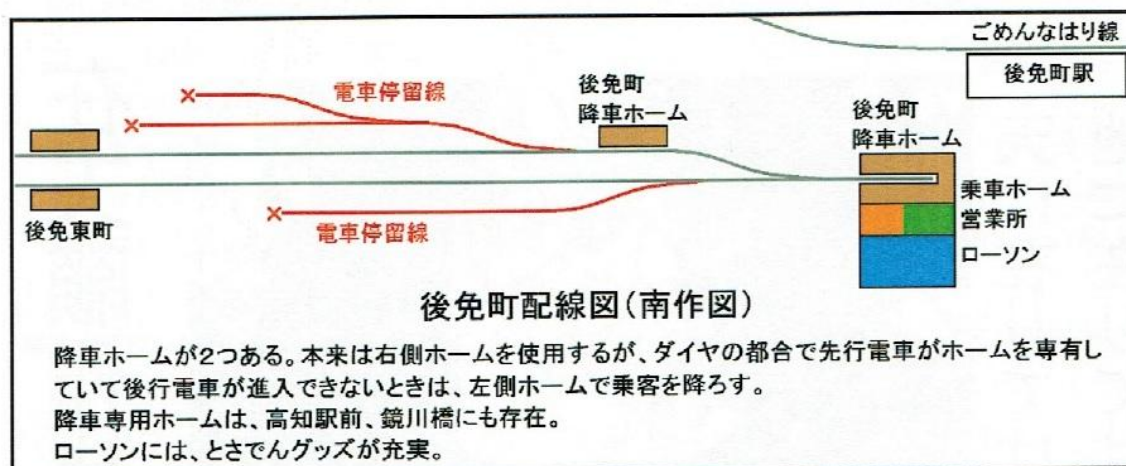


ジオロジー鉄道の旅 後免編（その1）

南 寿宏

1. TE32 後免町

とさでん交通の終点。昭和49年まで、土電安芸線の乗り換え駅。市内電車600系2両編成が安芸まで乗り入れていた。



土電安芸線の廃線跡は下の国土地理院地形図から想像できる。



2. TE31 後免東町

対面ホームが旧国道の北にひっそりとたたずむ。

後免町との間の踏切を北へ抜け、JR後免駅方面に向かうと、土電安芸線跡と思われる細道につながる。この細道は、ごめんなはり線高架橋の30mほど西。

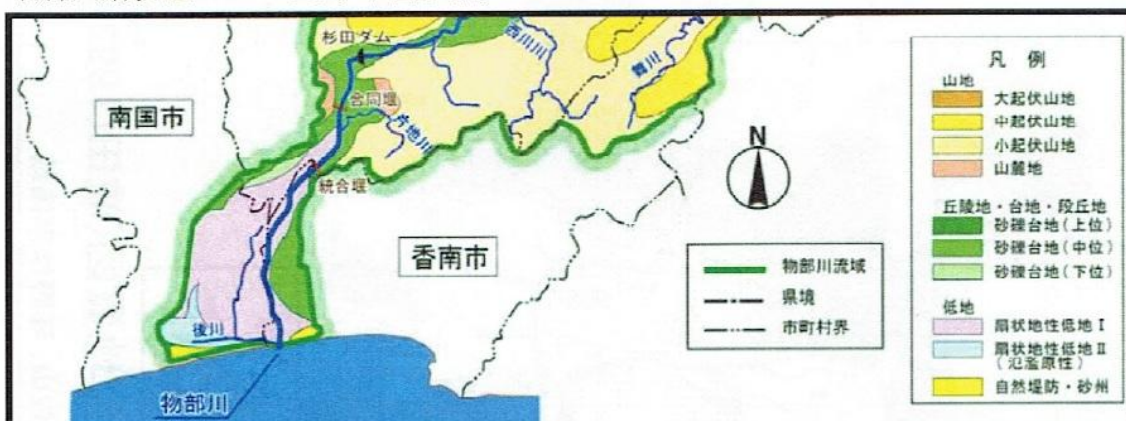


0 100 200 300 400 500m

後免・後免町間の廃線跡と舟入川(国土地理院地形図に加筆)

ごめんなはり線が舟入川と交差するあたりで、北と南の標高差に注意。
 ここは、かつての物部川扇状地の西縁。

物部川扇状地については、下図参照。



物部川の概要(四国地方整備局HPより引用)

物部川下流域の西側(右岸)には、合同堰の下流付近を扇頂部として、南西方向に向け扇状地性低地である香長平野が開けており、現在の物部川は、扇状地の東寄りを南へ流れる。

扇状地 (センジョウチ) alluvial fan

河川が形成した、谷口を扇頂とする半円錐状の堆積地形。沖積扇状地とも。山麓では河床勾配が減少し、川幅が広がり、水深が浅くなって河流は運搬力が減じ、谷口

[寿田晋呉 齐藤享治, 地学団体研究会編 新版地学事典]

このあたりから、電車通りの南北に丘陵が続く。波田重熙定義の高岡層である。

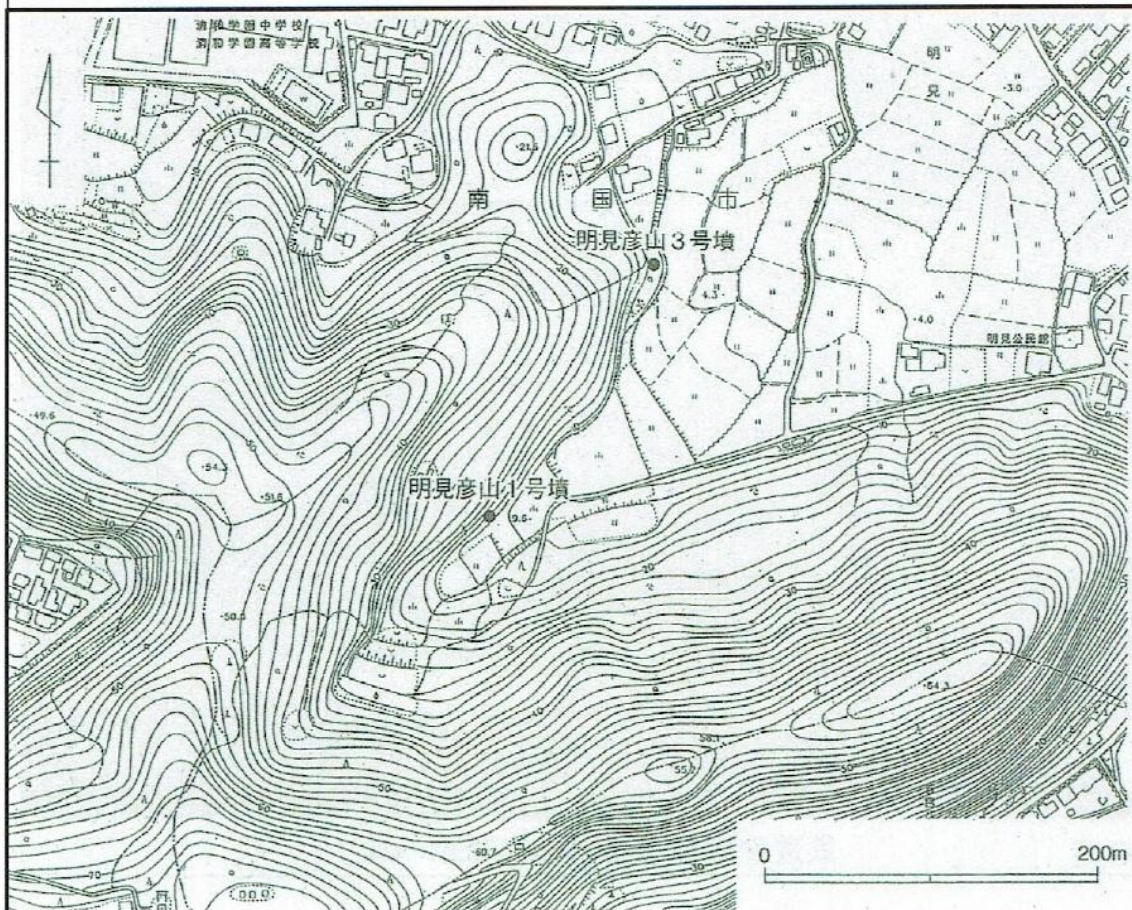
[波田重熙 (1993), 高知市の地質とその起源 高知市文化財調査報告書]



停留所から南へ小丘陵を越え、その南麓を西方へむかって5、6分歩くと、明見彦山古墳群3基のうちの1号古墳に着く。この1号墳に、南国市小蓮の小蓮古墳、高知市朝倉の朝倉古墳をあわせて、土佐の三大古墳という。

この明見彦山1号古墳は7世紀中頃のもので、横穴式石室の構造をもち、羨道（せんどう）の長さは3m、玄室の奥行5.9m、玄室奥の幅2.5mの大きさで、谷から少し上がった木立のなかに、羨道の口を南に開いて横たわる。1号古墳のすぐ近くの墓地の後方に3号古墳がある。こちらは封土の一部を残すだけで、構造は1号墳と同様だが、羨道の長さは1.8m、玄室の奥行5.8mと、やや小さい。1号古墳に先行して築かれたようである。直刀・刀子・馬具・銀環・鉄鎌など、県下の古墳では特に出土品の種類が多いことで注目される。2号墳は破壊されて残っていない。

〔山本大監修（1989）、高知県高等学校教育研究会歴史部会編 高知県の歴史散歩〕



明見彦山古墳地形図(高知県埋蔵文化財センター提供)

古墳（コフン） ancient mound tomb

古墳時代に作った墓の総称。円形の主丘に台形の丘を付属させた形に土を盛って築いた巨大な前方後円墳がその代表。最古の奈良県箸墓古墳は墳丘全長276m。5世紀の最大例は大阪府大山陵古墳で墳丘全長486m。ほかに前方後方墳、円墳、方墳もある。岩壁に横から墓室を掘った横穴墳も古墳のうちに入れる。前方後円墳は、

畿内と岡山県に巨大なものが集中し、山形・岩手県から鹿児島県まで分布。3、4世紀は支配階級の上位の者だけを埋葬した地域の首長墓が主で、その本質は墓というよりも首長権継承の場であるという考えが有力。5世紀になると、規模が最大化する一方、被葬者の範囲も拡大。6世紀には「・・・千塚」と呼ばれる横穴式石室に多人数を埋葬した小古墳の大群集をつくる。7世紀になると、西日本では支配階級のものだけになるが、東日本ではなおその築造が続く。8世紀になり、全国的に古墳築造の風習はやむ。

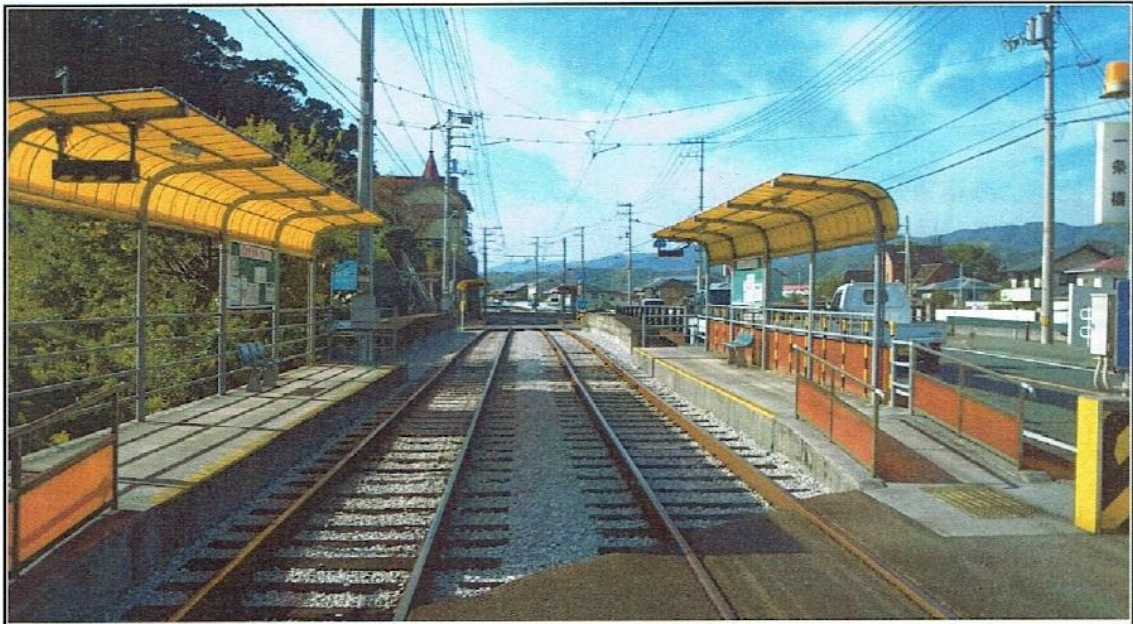
[春成秀爾、地学団体研究会編 新版地学事典]

最後に、明見橋のホームを見てみよう。この玄関は何？



4. TE22 一条橋

一条橋の名の由来は、西100mの山上にある大津城址による。大津城は天竺氏の居城であったが、長宗我部氏に滅ぼされた。その後、中村から一条氏の御曹子一条内政（ただまさ）を迎え、大津御所と称したが、長宗我部元親は内政に謀反の疑いをかけ、追放。これで、土佐一条氏は滅亡した。元親は歴史好きの女子、いわゆる『歴女』に人気があるが、戦国大名としてこのようなこともしていた。なお、隣の清和学園前ホーム横から10mほど階段を上ると、高岡層のチャートの露頭がある。



鉄道珍風景「一条橋から隣を見ると」

一条橋・清和学園前間は、日本一短い駅間距離。その距離はわずか、63m。清和女子中学校・高等学校がこの地に移った際に、停留所を新設したことによる。当時は、朝ラッシュ時に一条橋行の電車があり、よく利用した。平成になったばかりの頃のお話。

次回予告

土佐日記船出の地の考察と浦戸湾干拓の歴史
お楽しみに。

とさでん交通後免線 停留所コード一覧（南寿宏・私案）

TE01	デンテツターミナルビル前	TE09	西高須	TE17	鹿児島	TE25	小竈通
TE02	菜園場町	TE10	県立美術館通	TE18	舟戸	TE26	篠原
TE03	宝永町	TE11	高須	TE19	北浦	TE27	住吉通
TE04	知寄町一丁目	TE12	文珠通	TE20	領石通	TE28	東工業前
TE05	知寄町二丁目	TE13	介良通	TE21	清和学院前	TE29	後免西町
TE06	知寄町	TE14	新木	TE22	一条橋	TE30	後免中町
TE07	知寄町三丁目	TE15	東新木	TE23	明見橋	TE31	後免東町
TE08	葛島橋東詰	TE16	田辺島通	TE24	長崎	TE32	後免町